



日本サッカー協会 公認指導者養成講習会 (C級・D級)

開催申請書

フリガナ: ニホンウェルネススポーツダイガク

学校名: 日本ウェルネススポーツ大学

種別: 大学 ・ 短期大学 ・ 専門学校 ※いずれかに○をつけてください

代表者名: 柴岡 三千夫

連絡担当者名: 上原 章夫

〒 300-1622

住所: 茨城県北相馬郡利根町布川1377

TEL: 0297 - 68 - 6787

携帯: 090 - 4952 - 5743



公認指導者養成講習会の開催申請をいたします。

コース	いずれかに○をつけてください: <u>C級</u> ・ D級 ・ 両方	
施設	実技会場名: 日本ウェルネススポーツ大学第二グラウンド	ピッチ: 天然芝 ・ 人工芝 ・ <u>土</u>
	ピッチサイズ: 100 m × 68 m	ゴール数: 2組
	実技会場名: 日本ウェルネススポーツ大学第一体育館	ピッチ: 天然芝 ・ 人工芝 ・ 土 ・ <u>体育館</u>
	ピッチサイズ: (体育館) 30 m × 22 m	ゴール数: 2組
	講義会場名: 日本ウェルネススポーツ大学講義室4	講義会場名:
インストラクター	1. <input checked="" type="checkbox"/> 学内のJFA公認インストラクターで行う	
	2. <input type="checkbox"/> 外部のJFA公認インストラクターを依頼する 1. 2の□にチェックをしてください。	
	インストラクター名: 松本光弘	インストラクター名:
	インストラクター名:	インストラクター名:
受講者	1コマあたりの人数(予定): 40人	
	年間あたりの人数(予定): 80人	

※その他 添付書類

- ・ 学校案内
- ・ カリキュラム案 (書式自由)
- ・ インストラクター略歴

申請日: 2013年 2月 13日

日本ウェルネススポーツ大学 J F A公認C級講習会開催申請書類

開催期日

平成 26 年 4 月より開講

学校案内

2012 年 4 月 茨城県利根町に通信教育による 4 年制大学として開学
大学案内パンフレット添付

C級カリキュラム実施計画案

本学は通信制による教育が主体ではあるが必要な科目にあつては対面授業も組み込まれている。指導内容からして日本サッカー協会公認C級カリキュラムは総ての授業を面接授業で行う。面接授業とは、受講生が登校して指導者と対面で授業を受講する形態を指す。

<授業形態1> (集中スタイル)

夏季休暇(8月～9月)・冬季休暇(2月～3月)の土・日曜日の週末4回を使い、授業時間30コマに相当する集中授業で全カリキュラム内容を展開する。

トップスポーツマネジメント演習Ⅰ 15コマ 30時間(面接授業)

トップスポーツマネジメント演習Ⅱ 15コマ 30時間(面接授業)

<授業形態2> (通学スタイル)

通常の通学スタイルの学生に対しては毎週開講される以下の授業、合計30コマで全カリキュラム内容を展開する。

前期開講 トップスポーツマネジメント演習Ⅰ 15コマ 30時間(面接授業)

後期開講 トップスポーツマネジメント演習Ⅱ 15コマ 30時間(面接授業)

(注) 面接授業とは、受講生が大学に登校し指導者と対面で直接教授される授業形態をいう。

日本ウェルネススポーツ大学 JFA公認C級インストラクター略歴

氏名

松本光弘（マツモトミツヒロ） 1941年4月21日生（71歳）（埼玉県出身）

学歴

1964年3月 東京教育大学体育学部卒業

職歴

1965 東京教育大学体育学部教務補佐
1966-1968 亜細亜大学助手
1968-1978 福島大学教育学部助手・講師・助教授
1978-2005 筑波大学体育科学系助教授・教授
2005-2012 平成国際大学教授・特任教授
2012-現在 日本ウェルネススポーツ大学教授

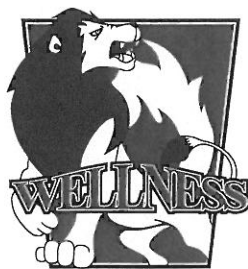
競技歴

1965-1969 東京教育大学蹴球部
1969-1963 浦和クラブ

指導歴

1970 第1回JFA コーチングスクール受講
1971 ヨーロッパ留学
1973 第3回FIFA 主催アジアコーチングスクール（テヘラン）受講
1974-1992 JFA 指導者養成担当
1981 FIFA 主催アジアアカデミー（マニラ）参加
1978-2005 筑波大学蹴球部監督・部長
1980 第9回マラハリムカップフットボールトーナメント日本代表監督
1991 '91ユニバーシアードシェフィールド大会日本代表監督
現在 JFA 公認A級コーチ
JFA47 インストラクター

2013 年度版



学校法人タイケン学園

日本ウェルネススポーツ大学



平成 24 年 4 月 開学



学校法人タイケン学園 理事長
日本ウェルネススポーツ大学 学長

柴岡 三千夫

日本体育大学卒業
学校法人タイケン学園 理事長
学校法人タイケン国際学園 理事長
財団法人日本幼少年体育協会 理事長
社会福祉法人タイケン福祉会 理事長
日本ウェルネススポーツ専門学校 校長
日本ウェルネス高等学校 校長
日本ウェルネススポーツ大学 学長
専門は幼児体育指導論、スポーツ政策論、現代社会と職業教育。
著書に『幼児の心理と水泳指導』（日本文化科学社）、『幼児体育指導教範』（タイケン出版）等がある。

職歴

昭和51年 体育健康クラブ 代表
昭和54年 日本幼児体育協会 代表
昭和57年 社団法人幼少年体育振興協会 専務理事
昭和63年 社団法人幼少年体育振興協会 会長
平成 9年 学校法人タイケン学園 理事長
平成10年 日本ウェルネススポーツ専門学校 校長
平成18年 学校法人タイケン国際学園 理事長
平成21年 財団法人日本幼少年体育協会 理事長
平成22年 日本ウェルネス高等学校 校長
平成23年 社会福祉法人タイケン福祉会 理事長
平成24年 日本ウェルネススポーツ大学 学長

理事長あいさつ

本学は日本初の「対面授業と通信教育を融合させた体育・スポーツ系大学」として、
平成24年に開校しました。

体育・スポーツ系大学では日本初の学習システム、学部名、学位名を有します。

こうした特徴から、いかに本学が未来にチャレンジするオリジナリティーの高いビジョンを有しているか
ご理解いただけるのではないのでしょうか。

昨年、国がスポーツの推進を国策として進める「スポーツ基本法」が制定されました。
理事長、学長として私は、「21世紀型の専門職大学」「スポーツプロモーション学」等、
本学の独創的なビジョンを基に、

21世紀のスポーツの使命を担う人材を世に送り出す大学であることを自覚し、
皆さんと共に本学ビジョンの達成に向けて全力を尽くす所存であります。

こうした本学の志を順調に発展させるために、
学園と本学教職員、学生が一体となり、一致団結して教育事業に取り組んでまいります。

学生の皆さんが立派な専門職人材になること、

又、目標とする職業や進路へ邁進されることを祈念しています。



履修モデル・教育サポートの体制

本学では、年次ごとに教育目標を掲げています。

- 1年次 学ぶ姿勢、意義について理解し、専門領域の学習に必要な基礎を身に付けます。
- 2年次 自身のキャリア形成の方向性や目標を客観的に考え、自主的・主体的に学べるようにします。
- 3年次 自身のキャリア形成における課題発見・問題解決能力を身に付けます。
- 4年次 自身のキャリア形成での成功イメージを描き、それに向けて柔軟に対応・適応できるようにします。

履修モデル（生涯スポーツコース）の場合

履修のねらいと特徴 共通科目では、現代社会の特徴をつかみ、それへの対応法と説得力ある自己主張とコミュニケーション能力を開発します。専門基礎科目では、これからの学習・教育に関する諸特徴を学び、そこにおける教育事業の展開に関する能力を開発します。これらの学修をベースにして、専門専攻科目の生涯スポーツコースでは、生涯スポーツとコミュニティスポーツを中心として学習し、スポーツ学習・教育システムのマネジメントとコーディネート能力開発を行います。トップスポーツプロモーションコースでは、トップスポーツのマネジメントとトップスポーツのコーディネート能力を開発し、トップスポーツプロモーション能力を開発します。

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次
共通科目	自己開発系	文章作成・表現法Ⅰ(2) 文章作成・表現法Ⅱ(2) コンピュータ情報処理Ⅰ(2)	情報セキュリティ(4) プレゼンテーション法(2) キャリア開発論Ⅰ(2) キャリア開発論Ⅱ(2) 問題解決力開発法(2) コンピュータ情報処理Ⅱ(2) 思考力開発法(2)		
	コミュニケーション系	メディアリテラシー(2) 現代社会とコミュニケーション(2) 英語コミュニケーションⅠ(2)	現代社会とコミュニケーション(2)		
	教育系	政治学Ⅰ(2) 政治学Ⅱ(2) 経営学(2)	経済学(2) 法学Ⅰ(2)		
共通科目合計		18	22		
専門基礎科目	実践課題系	スポーツプロモーション論概論(2) スポーツコーディネーション論概論(2) 健康科学概論(4) 生涯学習論Ⅰ(2) 生涯学習論Ⅱ(2)	現代スポーツ論(2) 生涯スポーツ論概論(2) ライフスタイル論概論(2) 運動生理学(2) 野外スポーツ運営論(2)	現代社会と社会教育(4)	
	応用課題系	障害者スポーツのマネジメント(2) 社会教育計画論Ⅰ(2) 社会教育計画論Ⅱ(2)	スポーツ・リスクマネジメント論概論(2) 社会教育課題研究Ⅰ(2)	スポーツ施設管理運営論(2) 社会教育課題研究Ⅱ(2) 社会教育事業・施設論(4)	
専門専攻科目	専門専攻科目			生涯スポーツ論特講Ⅰ(2) 生涯スポーツ論特講Ⅱ(2) コミュニティスポーツと地域行政Ⅰ(2) コミュニティスポーツと地域行政Ⅱ(2) 障害者スポーツ論Ⅰ(2) 障害者スポーツ論Ⅱ(2)	コミュニティスポーツ論特講Ⅰ(2) コミュニティスポーツ論特講Ⅱ(2) スポーツクラブ運営論Ⅰ(2) スポーツクラブ運営論Ⅱ(2) コミュニティスポーツプロモーション論演習Ⅰ(2) コミュニティスポーツプロモーション論演習Ⅱ(2)
	専門関連科目			民族スポーツイベント論特講Ⅰ(2) 民族スポーツイベント論特講Ⅱ(2) スポーツイベント経営論Ⅰ(2) スポーツジャーナリズム論特講Ⅰ(2)	スポーツと映像文化論Ⅰ(2) スポーツと映像文化論Ⅱ(2) スポーツパフォーマンスのコーディネート論特講Ⅰ(2) スポーツパフォーマンスのコーディネート論特講Ⅱ(2)
専門基礎科目・専門専攻科目合計		18	14	32	20
合計		36	36	32	20
					124

授業時間割 (例)

	履修期間		区分	日数	コマ数	時限	備考
	パターン	時期					
前期	5月～7月	〔金・土・日〕 〔土・日・月〕 〔火・水・木〕 (祝日等も考慮)	①	1日間	5コマ	3～7	【区分】 ①: 面接授業 10 時間を要する科目 ②: 面接授業 20 時間を要する科目 ③: 面接授業 30 時間を要する科目 【時間割】 1 時限目 9:00～10:30 2 時限目 10:40～12:10 3 時限目 13:00～14:30 4 時限目 14:40～16:10 5 時限目 16:20～17:50 6 時限目 18:30～20:00 7 時限目 20:10～21:40
			②	3日間	10コマ	1 日目…3～5 2 日目…1～5 3 日目…1～2	
			③	3日間	15コマ	1 日目…3～5 2 日目…1～5 3 日目…1～2	
	8月～9月	〔金・土・日〕 〔土・日・月〕 〔火・水・木〕 (祝日等も考慮)	①	1日間	5コマ	3～7	
			②	3日間	10コマ	1 日目…3～5 2 日目…1～5 3 日目…1～2	
			③	3日間	15コマ	1 日目…3～5 2 日目…1～5 3 日目…1～2	
後期	10月～12月	〔金・土・日〕 〔土・日・月〕 〔火・水・木〕 (祝日等も考慮)	①	1日間	5コマ	3～7	
			②	3日間	10コマ	1 日目…3～5 2 日目…1～5 3 日目…1～2	
			③	3日間	15コマ	1 日目…3～5 2 日目…1～5 3 日目…1～2	
	1月～2月	〔金・土・日〕 〔土・日・月〕 〔火・水・木〕 (祝日等も考慮)	①	1日間	5コマ	3～7	
			②	3日間	10コマ	1 日目…3～5 2 日目…1～5 3 日目…1～2	
			③	3日間	15コマ	1 日目…3～5 2 日目…1～5 3 日目…1～2	

本学では各種サポートスタッフ制により、きめ細かい学生サポートを行います。

添削指導員

科目担当教員と連携してレポート課題の添削指導の補助を行ないます。

授業アシスタント

授業における運営補助を行ないます。

教育アドバイザー

教育相談を担当します。

授業形態

本学の授業形態は、通信教育課程の編成・特色を踏まえて、印刷教材と面接授業を組み合わせた授業、面接授業、印刷教材による授業の3形態を設定します。これにより、社会人学生も効率的かつ柔軟に学習できます。

- 印刷教材と面接授業を組み合わせた授業
- 面接授業
- 印刷教材



※カットは全てイメージです

資格の取得

目標とする仕事に関連した資格の取得は、就職活動、キャリアデザインにおいても大きなプラス材料となります。本学では資格ごとに指定された科目を履修し、単位認定及び試験に合格することで資格が付与されます。

①健康運動実践指導者（財団法人健康・体力づくり事業財団）

医学的な基礎知識、運動生理学の知識を持って、個々に適した運動プログラムを提供できる者を養成するために設けられた資格。加速度を増す高齢化社会において有利な資格といえる。

②社会教育主事

任用資格。社会教育主事は自治体の教育委員会に属し、行政が行う生涯学習・社会教育事業の運営を担当する行政の専門職です。養成カリキュラムでは社会教育の概論、計画論、課題研究、現代社会との関係、施設、事業、教育成果の評価等を学びます。

③アシスタントマネジャー（財団法人日本体育協会）

認定資格。スポーツクラブの運営に必要な現状把握能力、判断力、説明能力、事務処理能力に関する資格です。養成カリキュラムでは、地域スポーツクラブの概論・現状、クラブマネジャーの役割、クラブの設立方法・運営等について学びます。

④スポーツリーダー（財団法人日本体育協会）

認定資格。地域におけるスポーツ組織での指導や運営に必要な基礎技術に関する資格です。養成カリキュラムではスポーツの概念、文化としてのスポーツ、指導者の役割、スポーツ振興等について学びます。

⑤幼児体育指導者1・2級（財団法人日本幼少年体育協会）

認定資格。幼稚園・保育園・スポーツ施設等における体育指導技術に関する資格です。養成カリキュラムでは発育発達論、幼児体育論、プログラム作成法・指導法等を学びます。

⑥情報セキュリティ技士（中央職業能力開発協会）

認定資格。ビジネスユースやパーソナルユースを主なカテゴリーとし、パソコン操作と周辺庶務に関するセキュリティ対策に関する資格です。養成カリキュラムでは文章の作成・編集・校正、複数文書の編集・管理等を学びます。スポーツの専門職において、情報管理は必要不可欠なスキルです。

